



2019年5月13日

各 位

会社名 神戸天然物化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮内仁志
(コード番号 6568 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 先砥庸治
(TEL. 078-993-2203)

新株式発行に関する資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2018年3月7日付「有価証券届出書の訂正届出書」（以下、「本件公募増資等」といいます。）に記載いたしました「新規発行による手取金の使途」（以下、「資金使途」といいます。）並びに2018年6月27日付「新株式発行に関する資金使途変更に関するお知らせ」にて開示した、本件公募増資等に係る資金使途について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、新規上場の際、設備投資資金及び借入金の返済資金に充当するために本件公募増資等を実施いたしました。

設備投資計画の実行に際し、既存設備の有効利用及び関連製品の需要等を勘案し、計画の最適化を実施した結果、本件公募増資等の資金使途につきまして一部変更を行うことといたしました。

計画しておりました神戸市における機能材料製造のための新工場建設については、出雲第二工場における既存土地の有効活用をすることとし、土地の新規購入を中止いたしました。これに伴い、各種生産設備等の固定資産取得へと資金の充当が可能となり、より有効な経営資源の投下を企図しております。

また、最近の情勢等を踏まえ、一部の投資に対しては時期の変更を行っております。

具体的には、出雲第一工場における医薬製造設備の増設等については、新規原薬精製棟(1,000,000千円)の取得を進めておりますが、昨今の建築業界における資材不足の影響から完成時期が遅れる見通しです。

また、追加の充当分として、低・中分子医薬の製造販売を拡大するための機械装置等の導入、2019年3月期に取得した新研究所への移転に伴う新規研究用機材

等の導入を行う計画に変更しております。

さらに、医薬事業分野ではデータインテグリティ（データの完全性）への対応がより重要となっており、これに対応するITシステムの整備を行う計画へと変更しております。

神戸工場及び出雲第二工場における機能性材料設備の増設等に関しては、既存案件の増産及び情報電子分野における引き合いの増加等から更なる生産キャパシティの増加を図った計画に変更しております。

バイオ分野生産設備の機能拡張等に関しては、新規案件の獲得を企図し、培養設備の機能拡張を行う計画へと変更しております。

2. 変更の内容

本件公募増資等に係る資金用途についての変更は、以下のとおりであります。

【変更前】※下線部分が変更箇所

(2) 【手取金の用途】

上記の差引手取概算額2,947,864千円及び本第三者割当増資の手取概算額上限729,819千円を合わせた、手取概算額合計上限3,677,683千円については、うち3,390,000千円を設備投資資金に充当する予定であり、残額を借入金の返済に充当する予定であります。

設備投資の具体的な用途としましては、出雲第一工場における医薬製造設備の増設等に対し2019年3月期に220,000千円、2020年3月期に1,000,000千円、出雲第二工場における機能材料製造設備の増設等に対し2019年3月期に370,000千円、神戸市における機能材料製造のための新工場建設に対し2020年3月期に1,000,000千円、2021年3月期に800,000千円を充当する予定であります。

また、過去に実施した、KNCバイオリサーチセンターにおけるGMP培養設備、出雲第一工場における核酸・ペプチド医薬品製造設備建設等のための金融機関からの借入金の返済資金に、2019年3月期に残額を充当する予定です。

なお、具体的な充当期間までは、安全性の高い金融資産等で運用していく方針であります。

※なお、会計年度に関する記載は、和暦表記から西暦表記に置き換えて記載しております。

【変更後】※下線部分が変更箇所

(2) 【手取金の用途】

上記の差引手取概算額2,947,864千円及び本第三者割当増資の手取概算額上限729,819千円を合わせた、手取概算額合計上限3,677,683千円については、うち3,390,000千円を設備投資資金に充当する予定であり、残額を借入金の返済に充当

する予定であります。

設備投資の具体的な使途としましては、出雲第一工場における医薬製造設備の増設等に対し2019年3月期に220,000千円、2020年3月期に130,000千円、データインテグリティに対応するためのITシステムに対し2020年3月期に45,000千円、2019年3月期に取得した新研究所への移転に伴う新規研究用機材等に対し2020年3月期に180,000千円を充当する予定であります。また、新規原薬精製棟に2020年3月期から2021年3月期に1,000,000千円を充当する予定です。

出雲第二工場における機能材料製造設備の増設等に対し2019年3月期に370,000千円、神戸工場及び出雲第二工場における既存機能材料製造増産等のための製造設備に対し2020年3月期に340,000千円、新工場棟の取得に対し2023年3月期に827,000千円を充当する予定であります。

バイオ分野の製造販売を促進するために、KNCバイオリサーチセンター内における既存工場の機能拡張に対し、2020年3月期から2021年3月期に278,000千円を充当する予定であります。

また、過去に実施した、KNCバイオリサーチセンターにおけるGMP培養設備、出雲第一工場における核酸・ペプチド医薬品製造設備建設等のための金融機関からの借入金の返済資金に、2019年3月期に残額を充当する予定です。

なお、具体的な充当時期までは、安全性の高い金融資産等で運用していく方針であります。

3. 今後の見通しと影響

本件資金使途の変更は2019年5月13日付「2019年3月期決算短信」にて開示した2020年3月期の業績予想に織り込み済みであります。

以上